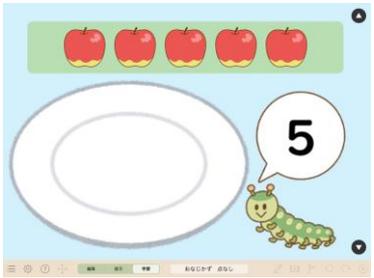


わくわくドキドキタブレット 実践報告書

小学部1年	教科等:	算数	単元計画
実践報告テーマ(簡潔に)			第1時・第2時 1こずつ～一対一対応～ 第3時～第5時 3こまでたべさせよう 第6時～第8時 5こまでたべさせよう
数字や数詞、数量と出会う段階の児童に、具体物や半具体物、iPad など様々な手段による操作活動を用いることで、数に親しみながら数量の基礎知識を育む。			
単元名	はらぺこすうじ		
実践のねらい (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・数字や数詞を知る。 ・数字や数詞と数量の一致を図る。 		
授業の展開(簡潔に) ※動画教材やICTを活用した部分には「★」印をつける			
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・「すうじのうた」を歌う。 ★「すうじのうた」の動画を見ながら、指で数量を表したり、数字の形をイメージした歌詞を身体表現したりしながら歌唱する活動を行う。 		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「はらぺこあおむし」のパネルシアターを聞く。 ★「〇〇(果物)を□つ食べました」の歌詞が流れた直後に動画を停止する。 →代表の児童が、数唱しながらパネルに果物カードを貼る。⇒5種類 ・あおむしに果物を食べさせる。 食べさせる果物とその個数を言葉とカードでランダムに指示し、数唱しながら果物消しゴムを皿の上に置く活動を行う。 ※児童の実態に応じて、ドットなしの皿、ドットありの皿、1個ずつ置ける容器を用意する。 ※センサー機能で口が開くごみ箱に、あおむしの顔を付けて使用する。 		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ★あおむしに果物を食べさせる。 具体物で行った活動を iPad 上でも行い、般化と定着を図る。 →数字をタップすると「〇〇(果物)を□(数字)食べたいなあ」という音声流れる。 →皿の上に指示された果物とその個数分移動させ、あおむしをタップすると正解のマークと音声が表示される。 ※児童の実態に応じて、ドットなしの皿、ドットありの皿を用意したり、個数を限定したりする。 		
動画教材やICTの活用のポイント(効果と児童生徒の反応)			
【写真】	 		【ポイント解説】
		<ul style="list-style-type: none"> ・「あおむしに食べさせる」というテーマにより、興味関心を引き出すことができる。 ・使用経験のあるアプリを使用することで主体性を引き出すことができる。 <p><使用アプリ> Finger Board Pro</p>	
実践報告のまとめ			
<ul style="list-style-type: none"> ・音声で指示を聞くことで、数字の読みが未定着の児童でも課題に取り組むことができたり、課題に取り組む中で数字の読みが定着してきたりした。 ・具体物で学習した内容を一人一台の iPad で繰り返し練習することで、見通しをもちながら主体的に取り組んだり、数量感覚を養ったりすることができた。 ・音声やイラストで正解不正解が分かるため、自力で解決する場を設けることができた。 			